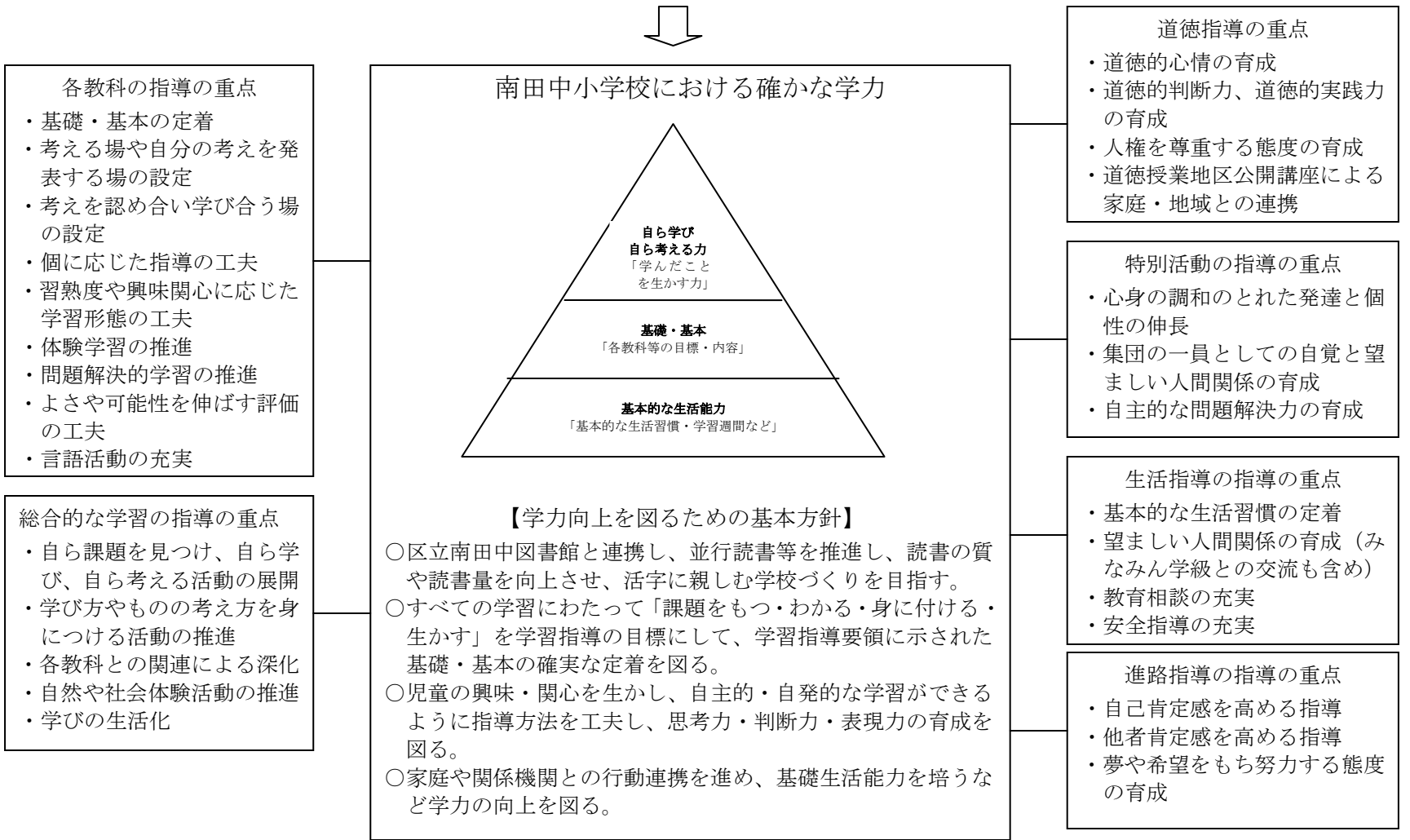
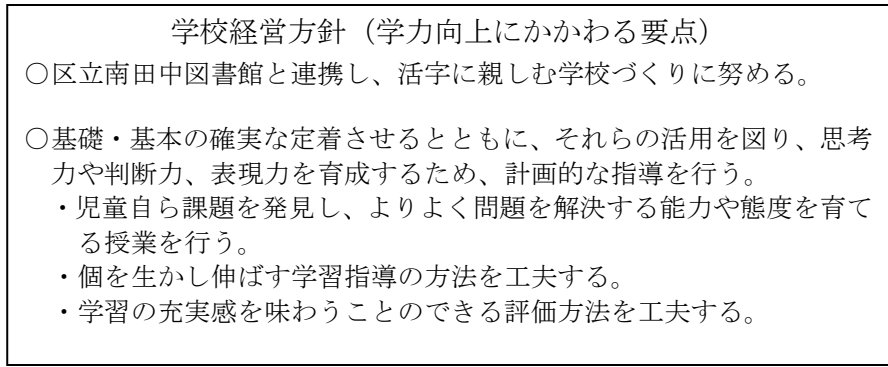
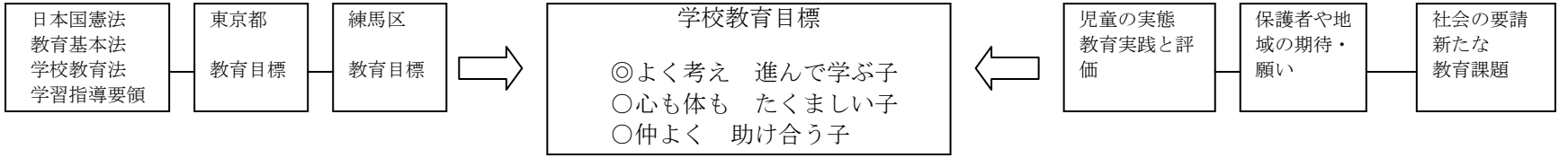


学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・体験的・問題解決的な学習を重視し、児童の意欲を大切に、学ぶ力の育成に努める。 ・算数の少人数授業を中心に、個に応じた指導の工夫に努める。 ・発展的な学習、補充的な学習の充実を図る。（「夏休み教室、放課後学習」など） ・考える力を高める学習活動を工夫する。 ・学級の教育機器（実物投影機と液晶プロジェクター）を活用し、授業改善に努め、「発表する力・伝える力・聴く力」を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みなみん学級と通常学級との交流や共同学習を計画的に行い、障害理解の啓発を推進していく。 ・学校図書館を活用するとともに、区立南田中図書館との連携を推進し、主体的に学習に取り組む児童の育成に努める。 ・朝学習、朝読書の時間を計画的に行うとともに、基礎学力の定着や表現力の育成に努める。 ・余剰時数を多く設定することにより、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の研究に取り組み、言語活動の充実を推進し、「自分の思いや考えをもち、表現できる子の育成」を目指す。 ・区立南田中図書館と連携し、並行読書等を進めるとともに、読書の質や量を向上させる。 ・日常的な授業公開を行い、教員相互の授業参観及び授業評価を実施する。 ・学期一回生活指導や人権尊重教育に関する研修会を行い、指導に生かす。 ・自己申告書に基づいた実践力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における評価計画及び評価基準の見直しを図り、適切な評価を行う。 ・児童一人一人の肯定的な評価や個を伸ばす評価を工夫する。 ・学校公開の保護者の感想、学校評議員や保護者の外部評価や児童による自己評価を分析し、課題を明らかにし、全教員が共通理解をしたうえで、日々の指導に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期3回の学校公開を実施する。 ・日常的な授業公開を通して、保護者がいつでも参観できるようにする。 ・道徳授業地区公開講座の内容を工夫し保護者や地域の方々が参加しやすい行事にしていく。 ・学校評議員会を年4回実施する。 ・地域行事に積極的に参加する。 ・学校評価を次年度の教育活動に反映させ、指導の充実・向上に努めるとともに、その結果や成果を保護者・地域の皆さんに発信していく。

